

再発見! 訪ねて

豊平区には、豊平・美園・月寒・平岸・中の島・西岡・福住・東月寒・南平岸と、9つの地区があります。各地区で、それぞれに町内会連合会が組織され、住民の皆さんが、共に考えながら、より良いまちづくりを目指し、さまざまな取り組みを行っています。

今月号では、町内会連合会が設立されて、来年で50周年を迎える美園地区を紹介します。豊平区の魅力を再発見してみませんか？



環状通のリンゴ並木



りんご並木の碑
(美園11-7)



第1回リンゴまつり
(昭和51年)



美園リンゴまつり(9月)

リンゴ並木と共に成長するまち

豊平区のシンボル「リンゴ」は、明治初期から栽培が始まり、リンゴの生産地として、国内はもとより海外にもその名をはせていました。そんなリンゴの歴史を後世に残そうと、昭和49年、環状通に80本のリンゴの木が植樹されました。このリンゴ並木は、美園地区に住む有志で結成された「美園リンゴ会」の見回りなどにより、長い間守られています。

また、昭和51年に始まった豊平区主催の「リンゴまつり」を、平成13年、美園地区が「美園リンゴまつり」として継承。収穫されたリンゴの無料配布やリンゴ神輿の巡行などを行っています。

区のリンゴまつりが10回目となる昭和60年には、リンゴ並木のリンゴが今後も末永く実り続けることを願い、環状通沿いに「りんご並木の碑」が、地域の人々によって建立されました。この碑は、美園地区の記念碑第1号となり、「美園リンゴ会」の会員が、毎年記念碑前で、交通安全祈願祭を行っています。



美園リンゴ会によるリンゴの収穫

美園地区 の概要

リンゴ並木と共に成長するまち「美園」の地名は、その昔、花やリンゴ作りを仕事とする人が多く、畑が一带に花園のように広がっていたことに由来するといわれています。当時を思い起こさせる風景は、環状通のリンゴ並木です。

平成6年、地下鉄の開通などにより、交通の便が良くなり、現在では、人口約2万人、世帯数も1万1千世帯を有するまちに発展しました。地区は10の単位町内会で構成され、これをまとめるのが美園地区町内会連合会です。福祉やまちづくりなど、さまざまな分野での活動の中心となっていて、平成21年には半世紀となる創立50周年を迎えます。



(美園児童会館、美園会館併設)

美園まちづくりセンター
住所 美園 6-5 ☎811-4119



(昭和63年以前)

人口・・・20,089人
世帯数・・・11,641世帯
単位町内会の数・・・10
(H20.10.1現在)

地区の活動を知りたい、参加したい方は、
まちづくりセンターにお問い合わせください。

